

「脊椎脊髄疾患の治療成績についての多施設共同研究」

1. 研究の対象

大阪大学大学院医学系研究科整形外科脊椎グループ関連施設（当センター含む）において、下記の疾患に対し保存療法あるいは手術を施行した患者さん
～対象となる疾患～

腰椎変性疾患（腰部脊柱狭窄症、腰椎変性すべり症、腰椎分離症、腰椎変形性腰椎症、腰椎椎間板ヘルニア、腰椎椎間板症）、頸椎・胸椎変性疾患（頸部・胸部脊髄症、頸部・胸椎後従靭帯骨化症、頸椎症性神経根症）、脊柱変形（脊柱後・側弯症、変性後側弯症、高度すべり症）、脊柱・脊髄腫瘍、脊椎外傷、代謝性・炎症性疾患（化膿性脊椎炎、結核性脊椎炎、リウマチ、骨粗鬆症、透析など）、脊髄疾患（脊髄空洞症、二分脊椎など）

2. 研究目的・意義

「目的」大阪大学整形外科および関連病院整形外科施設において治療がおこなわれた脊椎脊髄疾患患者のレジストレーションを行い、脊椎脊髄疾患に関する前向き疫学研究や治療成績評価・分析を多施設研究として行います。

「意義」得た結果により、今後の脊椎脊髄疾患の治療成績改善・向上につながるものと考えられます。また患者さんに最新の脊椎脊髄疾患の治療成績を公表することで、患者さんがより開かれた情報の中で治療法を選択することが可能となり、脊椎脊髄疾患の治療成績の改善・向上に結び付くことが期待されます。

3. 研究の方法

大阪大学整形外科および関連病院整形外科施設において治療が行われた脊椎脊髄疾患患者さんの登録を行い、発生頻度の低い希少症例や気象な手術関連合併症・全身合併症の発生数・発生率などに関する前向き疫学研究を行う。また脊椎脊髄疾患の治療前後の治療成績を評価、分析します。

「研究期間」2012年6月1日～2027年12月31日

4. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：年齢、性別、手術日、病名、術式、術中・術後合併症、採血データ、画像データ 等

5. 外部への試料・情報の提供

各施設より暗号化したデータファイルを大阪大学整形外科データ管理者に送信しデータファイルを収集、集計ファイルを調査事務局（大阪大学医学整形外科医局）に送信し、調査事務局内にて電子化・集計が行われる。

6 . 研究組織

【研究代表者】

武中 章太 大阪大学整形外科 助教

【共同研究機関】

坂浦 博伸 ・地域医療機能推進機構大阪病院 整形外科 脊椎外科部長

大和田 哲雄 ・関西労災病院整形外科 整形外科 部長

岩崎 幹季 ・大阪労災病院整形外科 副院長

鹿野 博亀 ・大阪急性期・総合医療センター 整形外科 副部長

細野 昇 ・地域医療機能推進機構星ヶ丘医療センター 副院長

和田 英路 ・大阪警察病院 脊椎・脊髄センター長

青野 博之 ・国立病院機構大阪医療センター 整形外科 医長

小田 剛紀 ・国立病院機構大阪南医療センター 骨・運動疾患センター部長

井澤 一隆 ・国立病院機構刀根山病院 整形外科部長

竹中 聡 ・大阪国際がんセンター 整形外科 部長

松岡 孝志 ・姫路赤十字病院 整形外科 整形外科 副部長

河野 譲二 ・堺市立総合医療センター 副院長

鈴木 省三 ・市立吹田市民病院 副院長

柏井 将文 ・市立豊中病院 整形外科 医長

大河内 敏行 ・市立池田病院 副院長

信貴 経夫 ・箕面市立病院 整形外科 部長

尾上 仁彦 ・市立貝塚病院 整形外科 部長

金澤 元宣 ・りんくう総合医療センター 整形外科 部長

行方 雅人 ・日生病院 整形外科 副部長

立石 耕介 ・八尾市立病院 整形外科 医長

林 潤三 ・市立伊丹病院 整形外科 部長

三輪 俊格 ・住友病院 整形外科医長兼脊椎センター長

野口 義文 ・守口敬仁会病院 副院長

6 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56

大阪急性期・総合医療センター整形外科

研究責任者：鹿野 博亀 副部長

電話 06-6692-1201